

# ぱれっと

気づき・発見・いろいろ

## 子どもの世界

第7回

見つけたで！こんな色

1995年から2004年までの10年間は、「人権教育のための国連10年」です。



「気づき・発見・いろいろ ぱれっと」は、身近なものごとをテーマに暮らしやすい社会や、多様な人間関係のあり方について考えるコーナーです。

このコラムを読んでいるのはおとなの人が多くと思いますが、子どもの頃のことを少し思い出してみてください。身の周りのおとなに自分の話を聞いてもらえず、一方的に怒られたり意見を押しつけられたりして、とても悔しい、悲しい思いをした…。そんな経験はだれにでもあるのではないのでしょうか。

でも、そうした思いは、自分がおとなになるにつれてしだいに忘れていってしまうのかもしれない。

まだ幼かったり成長の過程であったりしても、子どもはそれぞれ人格や意思をもっています。ところが、おとなの目線から子どもを見ると、どこかで「まだ子どもなんだから、おとなの言うことを聞かなくてはいけない」「おとなが子どもに教えてやらなくてはいけない」という意識をもってまいがちです。その意識が、子どもがおとなの思いどおりにならないときに苛立ちや怒りとなって、「しつけ」や「教育」という言葉をかさに、子どもにぶつけられてしまうこともあるのではないのでしょうか。

私自身も、ときどき幼い子どもたちと食事をする機会が

ありますが、あくまで自分のペースで遊んだり騒いだり、なかなか食べ終わらない子にイライラし、「ちゃんと座って食べなさい!」と大きな声を出してしまうことがあります。でもそれは、時間や周囲を気にした余裕のなさからくるイライラであることが多いようです。

もういちど、子どもの頃を思い出してみてください。時間の流れが今とはちがってはいませんでしたか？ 友だちと夢中になって遊んでいて、ふと気がつくと家に帰らなければならない時間をとうに過ぎていた…。

そんな思い出とともにあらためて子どもと接してみれば、おとなの決めた「枠」にははまりきれない子どもたちの世界が、懐かしく、そして新鮮に映るかもしれません。

くらげ企画(文・河昭子、写真・白砂大地)

みなさんのご意見、ご感想をおよせください。  
〒530-0001 大阪市北区梅田1-2-2-500  
総合生涯学習センター『いちよう並木・ぱれっと』係  
メールの場合は、namiki@osakademanabu.com  
いただいたご感想はご本人の了解を得た上で、このコーナーで紹介させていただきます場合があります。

### 「みんな集まれ!クレヨン広場」



自然素材を使ったクラフト教室、伝承遊び、チャンピオンによるけん玉教室などの遊び・体験のコーナーや人権に関するパネル・壁新聞の展示、市内の博物館・美術館などの出張体験ブース「大阪のわくわくミュージアム」、子どもたちのダンスや太鼓演奏、企画ステージなど、子どもも大人も一緒に参加して楽しめるイベントがもりだくさん。また、市内の小中学生による「フラッグデザインコンテスト」全応募作品を展示します。

主催：大阪市教育委員会、大阪市PTA協議会、(財)大阪市教育振興公社  
日時：11/13(土)10:30～16:30(フラッグデザインコンテスト作品展示は、11/13、14いずれも10:30～20:00)  
場所：OCAT・ボンテ広場、B1ストリート  
アクセス：地下鉄・JR・近鉄・南海「難波」  
問合せ：☎6345-5009(総合生涯学習センター)

### 『わたしOK? あなたOK!』 が 冊子になりました!!

本誌に平成16年3月まで連載されたコラム「わたしOK? あなたOK! ～くらしの中の人権エッセイ集～」が冊子になりました。身近な視点で「人権」について考えてみませんか?  
この冊子を15人の方にプレゼントします。  
(詳しくはP23)

